

第74回 全日本都道府県対抗

# 剣道優勝大会

日時

令和8年

4月29日(水・祝)

開会

午前9時20分

会場

和歌山ビッグホエール

主催 公益財団法人 全日本剣道連盟

毎日新聞社

主管 和歌山県剣道連盟

後援 和歌山県

和歌山市







## 剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

### 剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び  
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い  
剣道の特性を通じて礼節をとらとび  
信義を重んじ誠を尽して  
常に自己の修養に努め  
以って国家社会を愛して  
広く人類の平和繁栄に  
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定  
全日本剣道連盟

### 剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形（かたち）の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定  
全日本剣道連盟

## ご挨拶



公益財団法人全日本剣道連盟

会長 真砂 威

若草萌える「昭和の日」に全国各都道府県を代表する選りすぐりの剣士をここ和歌山ビッグホエールに迎え、第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会を開催できますことは誠に喜びにたえません。昨年に続き和歌山県での開催となります。多くの観客の声援と共に大会が実施できますことは大変意義深いことでもあります。

本大会は、戦後、全日本剣道連盟が発足した直後の昭和28年に始まり、歴史を重ねてまいりました。選手構成も何度か見直しを行い、第57回大会より、先鋒を高校生、次鋒を大学生とし、5将からは職業・段位・年齢の区分毎に選ばれた選手7名による男子の大会といたしました。生涯剣道ならではの選手構成となり、年齢別・職業別の代表者による素晴らしい大会となりました。

本大会に出場の選手各位には、郷土の名誉をかけて実力を遺憾なく発揮し互いに技を競い、少年・青年剣士を魅了する素晴らしい試合を繰り広げられることを期待いたします。また、この機会に全国の剣士と絆を深められ、貴重な経験を得られるよう希望いたします。

昨今、幼少年人口の減少により若年層の剣道人口の伸び悩みが見られますが、反面、中高年並びに女性剣士の増加、更には、海外における剣道の普及発展には目を見張るものがあります。「剣道未来プロジェクト」通じて、新たな剣道の魅力を多くの方々に伝えることで、愛好者の増加につながることを期待しております。

全日本剣道連盟といたしましては、今後も剣道の一層の普及発展を図るための諸施策を推進し、広く青少年の健全育成に寄与していく所存であります。各都道府県剣道連盟におかれましても大会の予選会を開催するなど、剣道の普及・広報活動にご尽力いただきたくお願い申し上げます。

結びに、永年にわたり本大会を共催戴いている毎日新聞社、ご後援戴いている和歌山県・和歌山市、主管団体として運営にご尽力されております和歌山県剣道連盟に深甚の謝意を表し、挨拶といたします。

## 祝 辞



和歌山県知事  
宮 崎 泉

第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会が、和歌山県において盛大に開催されますこと  
をお喜び申し上げますとともに、来県された選手並びに関係者の皆様を心から歓迎いたし  
ます。

剣道は、日々の稽古を通じて、心・技・体の鍛錬はもとより、相手を思いやる心や礼節  
を重んじる精神のかん養など、人間力を高めることができる武道であり、豊かな人間形成  
や青少年の健全育成に大変大きな役割を果たしています。

本大会は、高校生から50歳以上の方まで幅広い世代の剣士が一堂に会し、先鋒から大将  
までそれぞれの役割を果たしながら技を競い、総合力をもって日本一を目指す大会です。

選手の皆様には、これまでの修練の成果を存分に発揮されるとともに、世代を超えた交  
流の輪を広げていただくことを願っています。

また、県外からお越しの皆様には、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に代表される  
文化や景観、豊かな自然と本県が誇る海の幸や山の幸など、「聖地リゾート！和歌山」の魅  
力に触れていただき、和歌山でのよき思い出としていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に御尽力いただきました関係者の皆様に深く敬意を表すとともに、  
大会の御成功と選手の皆様の御健勝を祈念いたしまして、歓迎の言葉といたします。

## 祝 辞



和歌山県剣道連盟会長  
衆議院議員 世 耕 弘 成

ここ和歌山ビッグホエールにおいて、「第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会」が、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

私ども和歌山県剣道連盟は、各都道府県を代表する精鋭剣士の皆様方を「おもてなし」の精神で、歓迎申し上げます。

我が国独自の武道として受け継がれた剣道は、日本人が持つ精神力と集中力の賜物であり、洗練された技と魂が見事に調和した世界に誇る日本の武士道です。剣道は、稽古を続けることによって心身を鍛練し、人間形成を目指しています。

生涯剣道を実践されている剣士の皆様方に敬意を表します。

本日出場されます剣士の皆様方には、日々の鍛錬の成果を思う存分発揮され、郷土の名誉をかけて熱戦を繰り広げていただきたいと思います。また、本大会が全国各地の剣友との積極的な意見交換の場となり、「絆」を深められることを期待しています。

最後になりましたが、本大会を主催いただいた公益財団法人全日本剣道連盟、毎日新聞社はじめ関係する皆様方に深甚なる敬意と謝意を表し、本大会の成功を心から祈念申し上げます。

## 大会次第

1. 係員集合	7:45
2. 監督・選手集合	8:30
3. 役員・審判員整列	9:20
4. 監督・選手整列	9:20
5. 開会式	9:20～9:50
6. 日本剣道形	9:50～10:00
7. 試合	
1回戦6試合場(各2～3試合)	10:00～12:00
2回戦6試合場(各2～3試合)	12:00～14:00
3回戦6試合場(各1～2試合)	14:00～15:20
4回戦4試合場(各1試合)	15:20～16:00
準決勝2試合場(各1試合)	16:00～16:40
決勝1試合場(1試合)	16:40～17:20
8. 閉会式(表彰)	17:20～17:45

## 開会式

1. 選手整列	9:20
2. 国歌斉唱	
3. 優勝兜返還	
4. 優勝旗返還	
5. 挨拶	
6. 関係者紹介	
7. 試合上の注意	
8. 選手退場	9:50

## 閉会式

1. 役員・選手整列	17:20
2. 表彰	
3. 挨拶	
4. 退場	17:45

## 大会要項抜粋

### 1. 趣旨

各都道府県剣道連盟から、年齢別、職業別の代表者によって構成されるチームにより、互いに技をきそい、その向上に努め、剣道の普及、発展を図る。

### 2. 出場選手資格および選出方法

- (1)各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟登録者規定に適合している者。
- (2)各都道府県剣道連盟より、次の男子7名による1チームを出場させる。

選手編制はプログラム選手一覧表(P.14～25)を参照。

- (3)監督1名、選手7名とする。ただし、監督は、社会体育指導員(初級・中級・上級いずれか)の有資格者とし、選手が監督を兼任することも可とする。(資格基準日は大会当日)

### 3. 試合・審判および試合方法

- (1)全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則と同細則による。
- (2)試合は、トーナメント方式により優勝、第2位、第3位(2チーム)を決定する。
- (3)試合は3本勝負とし、試合時間は先鋒(高校生)4分、次鋒以降5分とする。

勝敗が決しない場合は、引き分けとする。

勝者数、総本数が同じ場合は、代表者戦を行う。

代表者戦は、大将より行い1本勝負とし、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行う。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで勝敗が決するまで継続する。

### 4. 表彰

- (1)優勝チームに優勝旗、優勝兜および賞品を授与する。
- (2)優勝より第3位まで賞状および賞品を授与する。
- (3)優秀選手には優秀選手賞を授与する。



# 競 技 役 員

(順序不同)

実行委員長	太田進也								
実行副委員長	矢野雅之	高澤彰	安村充司	西村紹男					
実行委員	宇治田善信 當仲淳史	戸川定昭 濱口仁史	岡本善樹 向井俊明	橋本光					
総務 [ 総括 ]	小林晋一 深見亮太 野澤豪樹 小塚本浩	加古恵 倉ノ下萌香 和栗諒人之 菅谷暢之 太田佳宏	長濱直 高橋一 五十嵐若 杉若雅	弥嶺真夫	斎藤諒 新美俊太郎 長谷弘司 中嶋明徳				
									(近大和歌山高4名)
ライブ配信・SNS発信	情報小委員会								
案内・警備	中本智也	中居貴彦	山本高裕						
来賓・役員受付	木下典	瀬戸典子	村松樹里						(桐蔭高3名)
監督受付(28日)	川口嘉奈子	瀬戸典子							
審判	夏目康弘 山本尚	貴志元昭 立石充	秋山博紀	立石裕視					
竹刀検査	稲葉弘樹 千葉勇基 四宮秀一郎	岸本和之 鎌田靖浩 大西誠	橋本大志 木村竜也 向井豪志	黒瀬太一 森日健 丸谷健太					
式典・表彰	石井卓 鳥本聡	奥村裕 丸谷健太	大西誠	向井豪志					
放送	川口嘉奈子	唐木裕子							
試合場	小川将広 木下大輔 西峯啓介	(和歌山東高8名) (和歌山工業高8名) (和歌山北高8名)	高松大地 小林要 上田秀人	(和歌山工業高8名) (近大和歌山高8名) (桐蔭高8名)					
掲示板	小幡智	藤田義人							(和歌山東高4名)
接待	岩尾有紀子	瀬戸典子	村松樹理						(和歌山工業高5名)
電光掲示板	松元雅志								
日本剣道形補助	村田寛法	小倉健志							
医師	横山省三								

# 審判員

審判長 豊村東盛(東京)

◎ **第1試合場** 主任 関川忠誠(千葉)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ① 赤木 茂(岡山)     | ① 宮崎 史裕(神奈川)   |
| 1組 ② 高橋 英明(京都) | 2組 ② 安達 慶一(岩手) |
| ③ 今野 裕樹(北海道)   | ③ 末益 正紀(鹿児島)   |

◎ **第2試合場** 主任 大河内鉄彦(愛知)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ① 坂田 秀晴(山梨)    | ① 坂田 敏郎(東京)    |
| 1組 ② 今村 了介(熊本) | 2組 ② 石田 洋二(大阪) |
| ③ 岡村 康広(兵庫)    | ③ 岩脇 司(石川)     |

◎ **第3試合場** 主任 桑原慶二(香川)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ① 平野 誠司(徳島)     | ① 門野 政人(東京)    |
| 1組 ② 織口 剛次(神奈川) | 2組 ② 藤井 良一(山口) |
| ③ 友弘 浩二(山口)     | ③ 中田 勝巳(群馬)    |

◎ **第4試合場** 主任 宮戸伸之(和歌山)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ① 林 佐登美(千葉)    | ① 渡邊 誠一郎(千葉)   |
| 1組 ② 國友 秀三(福岡) | 2組 ② 愛甲 和彦(大阪) |
| ③ 門田 睦志(愛媛)    | ③ 濱田 英徳(奈良)    |

◎ **第5試合場** 主任 吉田泰将(東京)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ① 八木 克潔(滋賀)    | ① 山中 章義(広島)     |
| 1組 ② 堀江 範雄(福井) | 2組 ② 清田 浩之(和歌山) |
| ③ 山下 克久(茨城)    | ③ 中村 隆信(愛知)     |

◎ **第6試合場** 主任 田中久夫(静岡)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| ① 湯澤 寛(秋田)     | ① 竹内 司(岡山)    |
| 1組 ② 森田 智裕(埼玉) | 2組 ② 鹿内 修(青森) |
| ③ 岩松 正直(長崎)    | ③ 名生 伊智郎(宮城)  |

- [備考] 1 4回戦は、**第1・第2・第3・第5試合場**で実施。  
準決勝戦は、**第2・第5試合場**で実施。決勝戦は、**第2試合場**で実施。  
2 ( )内は、登録の都道府県剣道連盟。

## 公開演武者

### 〔日本剣道形〕

日本剣道形は、大正元年、各流派の優れた技をもとに制定されたもので、太刀の形7本、小太刀の形3本、計10本より成り立っております。最も理にかなった、刀の操作法が組み込まれており、剣道の神髄を追求し、技の理合を極めた剣道修練の基本となるものです。

打太刀



剣道範士 八段 横尾英治

仕太刀



剣道教士 八段 宮戸伸之

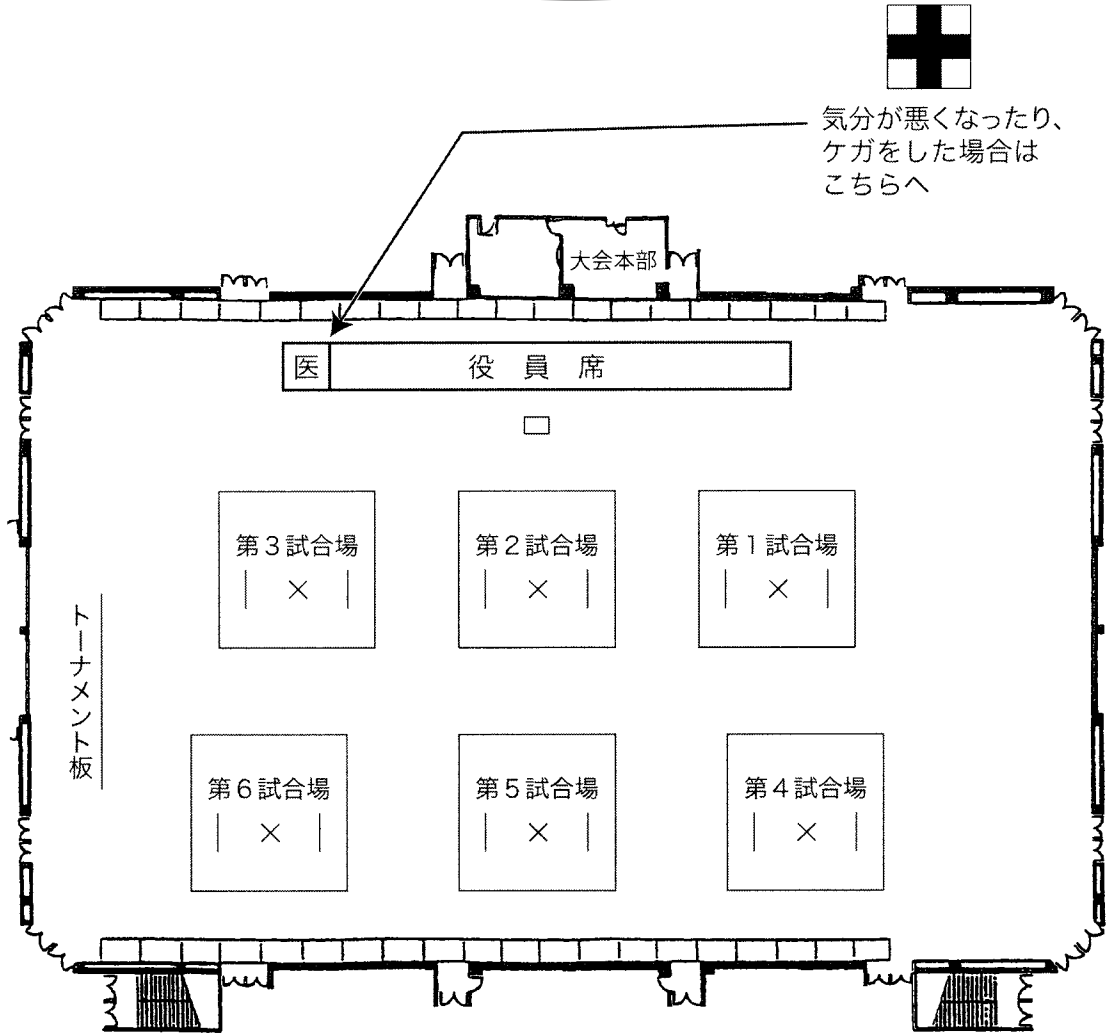
### 大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

# 試合場図



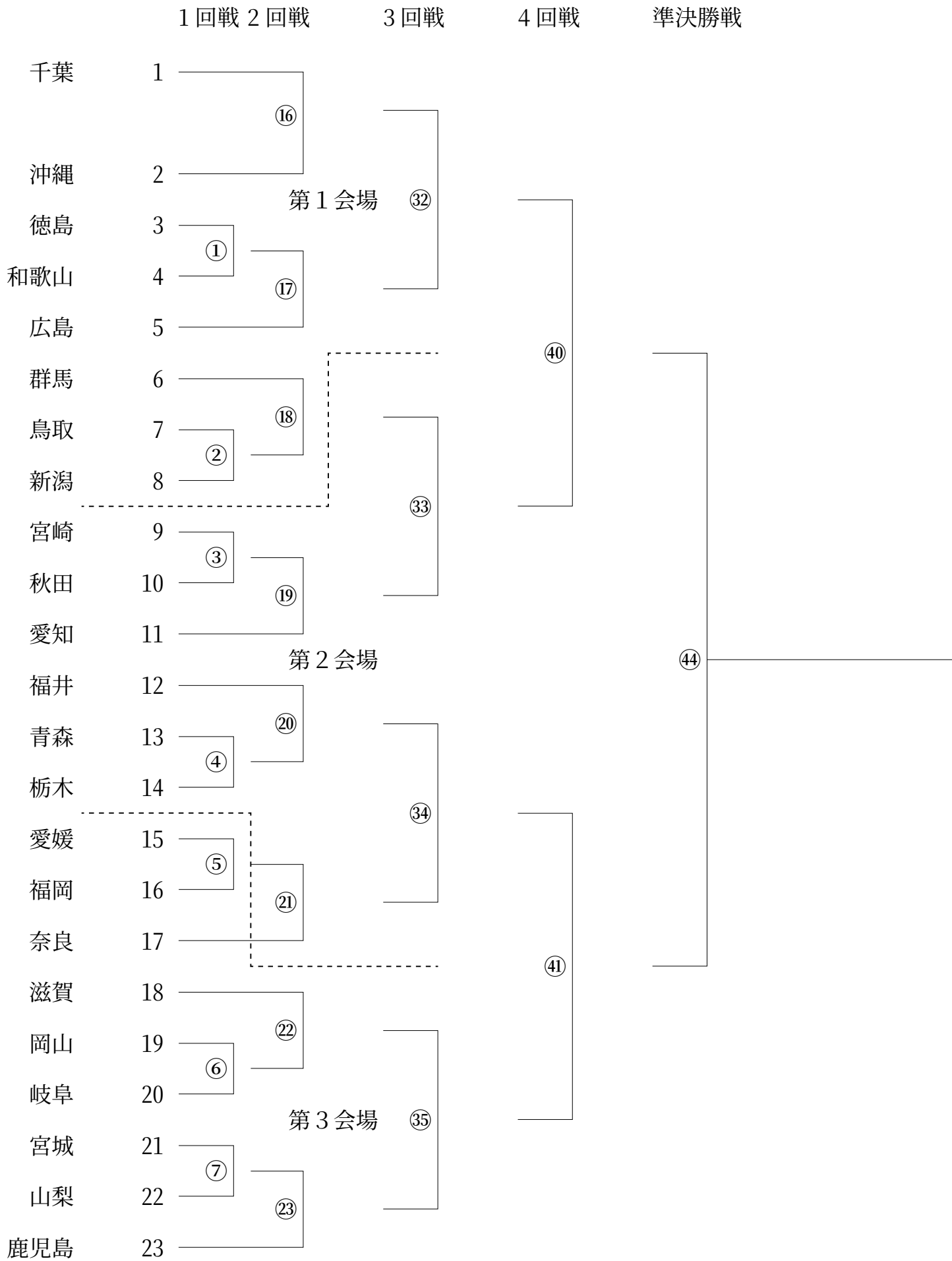
## 各試合場で行う試合

\* 番号はプログラムの組合せ表 (次の頁) を参照

	6会場			4会場	2会場	1会場
	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝戦	決勝戦
第1試合場	① ②	⑬ ⑭ ⑮	⑳	㉑		
第2試合場	③ ④	⑯ ⑰ ⑱	㉒ ㉓	㉔	㉕	㉖
第3試合場	⑤ ⑥ ⑦	㉘ ㉙	㉚	㉛		
第4試合場	⑧ ⑨	㉜ ㉝ ㉞	㉟			
第5試合場	⑩ ⑪ ⑫	㉡ ㉢	㉣ ㉤	㉥	㉦	
第6試合場	⑬ ⑭ ⑮	㉧ ㉨ ㉩	㉪			

\* 大会運営のため、試合場が変更される場合もあります。

# 第 74 回 全 日 本 都 道 府 県





# 選手一覧表

- 出場選手資格 (1) 各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟登録者規定に適合している者。
- (2) 各都道府県剣道連盟より、次の男子7名による1チームを出場させる。
- 先鋒……高校生  
次鋒……大学生  
5将……年齢18歳以上35歳未満の者、警察職員・教職員・高校生・大学生を除く。  
中堅……教職員の者、年齢に制限なし。  
3将……警察職員の者、年齢に制限なし。  
副将……年齢35歳以上の者、警察職員・教職員を除く。  
大将……50歳以上、剣道教士七段以上の者。

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

## 北海道

監督 栄花直輝

先	及川史翔	3	17		全国高等学校剣道大会、全国高等学校選抜大会	東海大学付属札幌高校3年
次	小林勇心	4	20		全日本学生剣道優勝大会、関東学生剣道優勝大会、関東学生新人戦	筑波大学3年
5	小林柊弥	4	25	日本大	全日本都道府県大会、全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道東西対抗	苫小牧消防署
中	栄花将輝	5	26	筑波大	国民体育大会、全日本都道府県対抗	東海大学付属札幌高校
3	芳賀光	5	26	国士舘大	全国警察剣道選手権大会	北海道警察機動隊
副	木村佳希	錬6	36	法政大	全日本都道府県大会、全国矯正職員大会	函館少年刑務所
大	炭屋尚宏	教8	54	東海大	全日本選手権、全日本都道府県対抗、国民体育大会、全日本東西対抗	北海道警察警察職員

## 青森

監督 渡邊大三

先	成田龍飛	3	17		全国高等学校剣道大会(団体・個人)、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	五所川原第一高校3年
次	工藤丈士	4	21		全国高等学校剣道大会(個人)	大東文化大学4年
5	木村龍生	錬6	33	関東学院大		青森刑務所
中	江良武瑠	4	23	日本体育大	全国教職員剣道大会	深浦町立深浦中学校
3	高橋樹	3	21	小牛田農林高校	全国高等学校剣道大会(個人)、全国高等学校剣道選抜大会、国民スポーツ大会	青森県警察本部
副	倉本健	錬6	35	国際武道大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会	青森刑務所
大	井田貴哉	教7	52	中央大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道大会、全日本東西対抗剣道大会、全国矯正職員武道大会選手権試合	青森刑務所

## 秋田

監督 高橋亮

先	三浦歩	3	17		全国高等学校総合体育大会、全国高等学校剣道選抜大会、国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	秋田商業高校3年
次	佐藤颯亮	3	18		全国高等学校総合体育大会、全国高等学校剣道選抜大会、国民スポーツ大会	立正大学1年
5	保坂亮輔	6	33	中央大	全国高等学校剣道選抜大会、国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	AKT秋田テレビ
中	伊藤智博	錬6	35	日本体育大	全日本剣道選手権大会、全国警察剣道大会、国民スポーツ大会、全国教職員剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	秋田商業高校
3	畠山康汰	4	23	秋田商業高校	全国警察剣道大会	秋田県警察機動隊
副	大野晃	錬7	44	東北学院大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	(株)大野総合保険アクティブ
大	高橋伸友	教7	51	順天堂大	全日本剣道選手権大会、全国教職員剣道大会、全日本東西対抗剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	秋田商業高校

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

## 山形

監督 中原正史

先	高田陽多	3	17		国民スポーツ大会5位、全国高等学校剣道大会(個人)	惺山高校3年
次	佐藤利輝	3	20		関東学生剣道新人戦大会優勝、関東学生剣道優勝大会3位	中央大学3年
5	高田夏希	4	24	東京農業大	全日本学生剣道優勝大会	山形刑務所
中	鎌田聡史	5	28	近畿大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員剣道大会	山形市立高橋中学校
3	石田卓也	5	30	山形南高校	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	山形県警察
副	堀大河	錬7	41	日本体育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会、全日本官公庁剣道大会個人優勝	山形刑務所
大	土田悟	教7	55	山形大	国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員剣道大会	余目中学校

## 岩手

監督 佐々木直也

先	山口柁威	3	17		全国中学校剣道大会	南昌みらい高校3年
次	猫塚湊太	3	20		全国中学校剣道大会、インターハイ2回、全国高校選抜大会、鹿児島国体	国士舘大学3年
5	石黒孝明	5	28	岩手医科大	全日本歯科学学生総合体育大会剣道部門(個人・団体)優勝	歯科医師
中	山口新太	4	26	国士舘大	岩手国体3位、インターハイ(個人)、全日本学生剣道優勝大会2位、栃木・佐賀国体、全国教職員大会個人ベスト8	千厩高校
3	佐々木直也	5	33	流通経済大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会4位、全国警察大会4回	岩手県警察
副	岩崎龍一郎	6	37	国士舘大	国体出場、全日本選手権大会、全日本都道府県対抗剣道大会	株式会社 丹野組
大	青木貞志	教7	55	国士舘大	国民体育大会4回、4位1回、全日本東西対抗剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会3回	南昌みらい高校

## 宮城

監督 鈴木和幸

先	杉澤陽希	3	16		宮城県高等学校新人剣道大会個人優勝	古川高校2年
次	稲富怜大	3	20		全日本都道府県対抗剣道優勝大会	国士舘大学3年
5	鈴木健太	5	30	東北学院大	全国矯正職員剣道選手権大会3位	宮城刑務所
中	武田直大	錬6	35	国士舘大	全日本剣道選手権大会5回、全国教職員剣道大会個人2位・3位3回、団体3位	利府高校
3	三浦祐哉	5	29	国際武道大	全国警察剣道選手権大会、全国警察剣道大会	宮城県警察
副	菅原清輔	教7	45	国士舘大	国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	宮城刑務所
大	石橋力	教7	54	鹿屋体育大	全国矯正職員剣道選手権大会3位、全国矯正職員剣道大会施設対抗試合2位2回・3位2回	宮城刑務所

## 福島

監督 増井將次

先	本名大成	3	17		東北高等学校剣道大会	会津工業高校3年
次	留場啓伍	4	21		国民スポーツ大会、全日本学生剣道優勝大会	国士舘大学4年
5	木戸翔太	3	25	聖光学院高校	全日本矯正職員武道大会	福島刑務所
中	芳賀翔矢	5	28	日本体育大	全日本選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員剣道大会、国民スポーツ大会	会津農林高校
3	鳥羽雄馬	5	29	仙台大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会、全国警察剣道選手権大会	福島県警察機動隊
副	竹田勝成	錬6	36	日本体育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会、全国矯正職員武道大会	福島刑務所
大	菅藤修康	教7	50	聖光学院高校	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会、全国矯正職員武道大会	福島刑務所

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

### 茨城

監督 坂本 隆

先	瀧山隼人	2	17		全国高等学校剣道選抜大会	水戸葵陵高校3年
次	飯島圭祐	3	19		インターハイ(団体・個人)、全国選抜出場、国民スポーツ大会佐賀大会団体5位、全日本都道府県対抗剣道優勝大会2位	日本体育大学2年
5	山下和真	錬6	33	筑波大	全国教職員剣道大会団体・個人優勝、全日本選手権3回、都道府県対抗2位、全日本学生剣道優勝大会団体優勝2回	(株)エンボス企画
中	松崎賢士郎	5	27	筑波大学大学院	全日本選手権7回優勝1回・2位1回・3位1回、世界大会団体優勝・個人2位	筑波大学教員
3	山崎啓佑	5	28	垂細垂大	インターハイ団体3位、全国警察剣道大会	茨城県警察
副	矢口二三也	教7	45	流通経済大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会2位3回、全国矯正職員剣道大会団体優勝2回・個人優勝1回、全日本剣道選手権大会	東京拘置所
大	直井勝彦	教7	51	流通経済大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会2位1回・3位1回、全国警察剣道大会	茨城県警察

### 栃木

監督 塩澤好和

先	川崎泰知	3	18		関東高等学校剣道大会団体2位1回・3位1回、全国高校総体団体ベスト16、国民スポーツ大会	佐野日本大学高校3年
次	濱田大佑	3	20		全日本学生剣道優勝大会団体3位、全日本学生剣道選手権大会ベスト8、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、特別国民体育大会	鹿屋体育大学3年
5	濱田公佑	4	24	日本大	全日本学生剣道選手権大会団体ベスト8、全日本学生剣道選手権大会ベスト16、全日本実業団剣道大会、関東学生剣道優勝大会団体3位、関東学生剣道優勝大会団体ベスト8	東洋水産株式会社
中	松澤孝憲	錬6	39	筑波大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会5位入賞	白鷗大学足利高校
3	市川巧	6	32	明治大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会優勝、国民スポーツ大会5位入賞	栃木県警察
副	野中隼人	5	37	東洋大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	日光東照宮
大	山中佳英	教8	50	作新学院高等部	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本東西対抗剣道大会、国民体育大会	東京電力パワーグリッド株式会社

### 群馬

監督 石原一幸

先	木村圭吾	3	17			常磐高校3年
次	石関秀伍	3	21		全国高校選抜剣道大会	国士舘大学4年
5	木村理吟	3	23	日本体育大	全日本学生剣道優勝大会3位	(株)RFテクニカ
中	小此木俊光	6	33	宇都宮大	全国教職員大会	伊勢崎市立三郷小学校
3	星野秀明	5	26	大阪体育大	全日本剣道選手権大会2回、国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会3回、全国警察選手権5位、全国警察大会3部優勝	群馬県警察
副	笹山淳平	錬7	37	東京農工大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会2回、全日本実業団剣道大会	(株)J-オイルミルズ
大	竹澤賢二	教7	56	伊勢崎佐波農業高校	全国道場対抗剣道大会	(株)ロフティ

### 埼玉

監督 藤田利美

先	北脇大翔	3	17		全国高等学校剣道選抜大会、全国中学校剣道大会、都道府県対抗少年剣道優勝大会	山村学園高校3年
次	井上倭	3	20		全国高等学校剣道選抜大会、全国高校剣道大会	法政大学3年
5	泉英太	5	27	順天堂大	都道府県対抗優勝大会2位、全日本選手権大会	解脱会解脱錬心館
中	泉和毅	6	31	順天堂大	都道府県対抗優勝大会優勝、国体、全日本選手権大会、全国教職員大会	川口北高校
3	伊藤勇太	4	27	法政大	都道府県対抗優勝大会、国民スポーツ大会、全日本選手権大会、全国警察大会	埼玉県警察
副	橋本桂一	教7	45	帝京大	都道府県対抗優勝大会優勝、国体優勝、全日本選手権大会、東西対抗大会、全日本実業団大会団体優勝・個人2位、全日本七段選抜優勝	伊田テクノス(株)
大	井口清	教8	56	流通経済大	世界大会団体優勝、都道府県対抗優勝大会、国体、全日本選手権大会、全国警察大会個人優勝、東西対抗大会、全日本八段選抜2位	流通経済大学

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

## 東京

監督 横内良道

先	加藤真人	3	17			明治大学附属中野高校 3年
次	樋口隆太郎	4	21			明治大学 4年
5	森塚遼	5	28	法政大	全日本学生選手権大会、全国警察剣道大会	渡辺税理士法人
中	安藤翔	錬6	35	国士館大	世界剣道選手権大会個人優勝・団体優勝2回、全日本剣道選手権大会2位・3位2回、全国警察剣道選手権大会個人優勝、全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝	国士館大学
3	竹ノ内佑也	6	32	筑波大	全日本選手権優勝2回、世界剣道大会団体優勝3回、全国警察剣道大会優勝2回、全国警察選手権大会優勝	警視庁
副	岩川力	6	36	早稲田大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝、全日本実業団剣道大会優勝	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
大	原田悟	教8	52	筑波大	全日本剣道選手権大会優勝1回準優勝2回3位3回、全国警察剣道大会優勝、世界剣道選手権大会	警視庁

## 千葉

監督 染谷恒治

先	高澤孝栄	3	17		全国高等学校剣道選抜大会、関東高等学校剣道大会	中央学院高校 3年
次	青柳佑介	3	19		全国高校大会	国士館大学 2年
5	本間渉	5	28	中央大	全日本選手権大会、全日本実業団大会優勝、全日本都道府県対抗優勝大会優勝	三井住友海上
中	小川侑吾	6	31	中央大	国民体育大会 3位	木更津総合高校
3	染谷恒貴	5	29	国士館大	全日本選手権大会、国民スポーツ大会、全国警察大会	千葉県警察
副	山内三士郎	6	35	日本体育大	全日本都道府県対抗優勝大会、全日本学生剣道優勝大会ベスト8	NX商事(株)
大	蒔田直人	教8	50	東海大	全日本選手権大会、東西対抗大会、全日本都道府県対抗大会、国民スポーツ大会優勝	千葉県警察

## 神奈川

監督 有馬裕史

先	藤林粹平	3	17		全国道場対抗剣道大会(団体)、全国道場少年剣道大会、全国高等学校剣道選抜大会	東海大学付属相模高校 3年
次	須藤龍一	4	21		国民体育大会剣道競技、全国高等学校剣道選抜大会ベスト32、全日本学生剣道選手権大会	立教大学 4年
5	森川天斗	3	22	東海大	全日本学生剣道優勝大会ベスト8、全日本学生剣道選手権大会ベスト16、全国高等学校剣道大会(団体・個人)、全日本都道府県対抗剣道優勝大会ベスト8	伊藤忠テクノソリューションズ(株)
中	吉本大悟	5	29	順天堂大	全日本学生剣道優勝大会	相模原城山高校
3	田中晃司	6	29	本庄第一高校	全国警察剣道大会 1部優勝	神奈川県警察
副	高見優	錬7	38	東海大	全日本剣道選手権大会ベスト8、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察剣道大会	脱毛サロンEvolve横浜
大	小山潤	教7	52	東海大	全日本剣道選手権大会、全国警察剣道大会1部優勝3回、全国警察剣道選手権大会、国民体育大会	神奈川県警察

## 山梨

監督 依田安史

先	水谷一惺	2	16		全国高校総合体育大会	甲府商業高校 2年
次	小泉孝輔	4	20		全国高校選抜大会、全国高校総合体育大会	国士館大学 3年
5	坂本大河	5	25	国士館大	全日本選手権大会、国民スポーツ大会	甲府刑務所
中	依田光史	5	25	国士館大	全日本都道府県大会出場、国民スポーツ大会	甲府商業高校
3	光石理人	5	28	国士館大	全日本選手権大会、全国警察大会、全国警察選手権大会	山梨県警察
副	金子亮介	6	35	中京大	全日本選手権大会、全日本都道府県大会、国民スポーツ大会	甲府刑務所
大	坂本浩一	教7	52	国士館大	全日本東西対抗大会、全日本都道府県大会、国民スポーツ大会	甲府刑務所

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

### 新潟

監督 坂爪優太

先	田村海翔	3	17			新潟第一高校3年
次	榎本龍輝	3	19			関東学院大学2年
5	松本諒	5	28	国士館大	全日本学生団体3位	新潟刑務所
中	坂爪優太	6	31	国士館大	全日本選手権大会2回	帝京長岡高校
3	大濱優輝	4	26	日本大	全国警察大会	新潟県警察
副	高橋吉孝	錬6	40	大阪体育大	全国矯正大会個人優勝2回・団体3位、全国学生個人3位・団体優勝、国体優勝、都道府県対抗ベスト16	新潟刑務所
大	中嶋直人	教7	52	小出高校	全日本選手権大会	新潟県警察

### 石川

監督 倉久廣

先	大山幹太	2	17		全国中学校剣道大会、全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	金沢学院大学附属高校3年
次	吉村匠登	3	21		全国高校選抜剣道大会、高校総体、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	国学院大学3年
5	竹吉文哉	5	27	東海大	全日本剣道選手権大会、国スポ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	金沢刑務所
中	久保洸旗	6	38	金沢大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員剣道大会	金沢桜丘高校
3	高見将吾	5	27	金沢市立工業高校	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察官剣道大会	石川県警察
副	針原直孝	7	39	金沢星稜大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	金沢刑務所
大	藤井勝司	教8	53	東北大	国スポ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本東西対抗剣道大会	小松市役所

### 富山

監督 井上英之

先	佐藤太陽	3	17		全国中学校剣道大会、全国高校総体剣道大会	富山北部高校3年
次	今村勇	3	19			日本体育大学2年
5	田中陽也	4	24	日本体育大		富山刑務所
中	森勇人	4	26	福井工業大	全日本学生剣道優勝大会、全国教職員剣道大会	富山工業高校
3	金崎楓馬	4	23	龍谷富山高校	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全国警察剣道大会	富山県警察
副	小木輔	5	36	国士館大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗優勝大会	(株)Jリスクマネージメント
大	井上英之	教8	50	創価大	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会、全国警察剣道大会	富山県警察

### 福井

監督 鈴木秀典

先	小角瞳弥	3	17			啓新高校3年
次	山下慶也	3	19		国民スポーツ大会5位、全国高校総体、全国高校選抜大会	日本大学2年
5	中村翔太郎	3	23	明治大	全日本学生大会、国民体育大会、国民スポーツ大会	ナカムラ設備
中	長野和生	5	25	国士館大	全日本学生優勝大会準優勝	福井工業大学附属福井高校
3	徳橋知輝	4	22	敦賀高校	全国警察大会	福井県警察
副	富田成慈	錬6	35	福井工業大	全日本剣道選手権大会、都道府県大会、国体	福井刑務所
大	小辻淳二	教8	59	金沢大	国民体育大会3位、全国教職員大会、都道府県対抗大会、全日本東西対抗大会	福井県立武道館

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

### 長野

監督 志村圭一

先	山極海知	3	17			佐久長聖高校3年
次	宮下隼弥	4	21		全日本都道府県対抗剣道優勝大会	大阪体育大学4年
5	八田京典	5	31	日本体育大		松本少年刑務所
中	矢野博之	錬6	31	国士舘大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会、全国教職員剣道大会	長野日本大学中学・高校
3	西澤慎也	5	29	長野商業高校	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会、全国警察剣道大会、全国警察剣道選手権大会	長野県警察
副	安川泰樹	錬7	39	昭和医科大		安川整形外科クリニック
大	立見顕久	教8	53	京都産業大	全日本東西対抗剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝2回・3位1回、全日本実業団高壮年剣道大会優勝3回、全日本実業団剣道大会優勝6回	三井住友海上火災保険(株)

### 静岡

監督 吉留秀俊

先	富樫遵乃介	3	17		全国高等学校剣道選抜大会	磐田東高校3年
次	高橋哲太	4	21		全日本学生剣道優勝大会	大東文化大学4年
5	山崎優斗	3	22	池新田高校	全国高校総体、全国高等学校剣道選抜大会	(株)プロスパイラマニユファクチャリング
中	設楽海斗	4	27	法政大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員大会3位、全日本学生剣道優勝大会	東海大学静岡翔洋高校
3	楠孝納佑	5	27	鹿屋体育大	全日本剣道選手権大会、国体、全国警察剣道大会、全日本学生剣道大会	静岡県警察
副	二槁光哉	錬7	40	中京大	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国体少年の部優勝、全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道選手権大会2回	(株)ミダック
大	松井修司	教7	52	中京大	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、国体、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	(株)プロスパイラマニユファクチャリング

### 愛知

監督 倉成健治

先	西躰朔久	2	17		全国高校選抜大会	桜丘高校3年
次	関屋優作	4	21		全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道選手権大会	星城大学4年
5	片神明信	3	27	愛知大	全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道選手権大会	名古屋刑務所
中	坂田竣宥	4	24	専修大	全国教職員剣道大会、全日本学生剣道優勝大会	豊川高校
3	藤木秀行	4	25	大阪体育大	全日本学生剣道選手権大会	愛知県警察
副	海野祐介	錬6	35	中京大	全日本都道府県対抗大会、全日本官公庁剣道大会	名古屋刑務所
大	清水基史	教8	50	愛知学院大	全日本剣道選手権大会、国スポ、全国警察大会	愛知県警察

### 岐阜

監督 杉田龍彦

先	中村武暉	2	17		全国高校総合体育大会、全国高校選抜大会	済美高校3年
次	後藤迅	3	20		全国高校総合体育大会2位、全日本学生優勝大会	中部学院大学3年
5	谷村洸征	3	23	朝日大	中部実業団剣道大会3位	(株)バローホールディングス
中	長屋貴則	錬6	35	中京大	全日本都道府県対抗剣道大会、全国教職員剣道大会	大垣桜高校
3	小林賢哉	5	28	日本体育大	全国警察剣道大会、国民体育大会	岐阜県警察
副	村上拓	5	44	中日本自動車短期大	全国高校総合体育大会、全日本都道府県対抗剣道大会	(株)西都電機商会
大	久木原裕二	教7	50	専修大	全日本都道府県対抗剣道大会、全日本実業団剣道大会優勝	(株)バローホールディングス

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

### 三重

監督 中納 淳

先	櫻井 竜規	3	17		全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(中学生)	四日市工業高校3年
次	甲斐 叶大	4	20		全国高校総体(個人・団体)、全国高等学校剣道選抜大会、特別国民体育大会少年男子の部	日本大学3年
5	井上 諒	錬6	32	東海大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝、国民体育大会	生川倉庫株式会社
中	吉川 航輝	4	27	国際武道大	全日本学生優勝大会3位、全国教職員大会個人3位	津市立久居東中学校
3	鈴木 太志	5	28	国士舘大	全国警察大会、国民体育大会	三重県警察
副	太田 宗佑	錬6	36	中央大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	三重刑務所
大	河合 貞志	教8	54	筑波大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会、全国教職員大会	川越高校

### 滋賀

監督 川崎 勝博

先	木下 智貴	2	17		全国高校総体、全国高校選抜大会	延暦寺学園比叡山高校3年
次	中村 成真	4	21		玉竜旗高校剣道大会優勝、全国高校総体3位	立教大学4年
5	竹本 航洋	4	24	立命館大	国民スポーツ大会優勝、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本剣道選手権大会	東レ株式会社
中	八木 聖真	5	27	国士舘大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	延暦寺学園比叡山中学校
3	大橋 宙暉	5	26	関西大	全国警察剣道大会第二部3位、全日本学生剣道優勝大会3位	滋賀県警察
副	堀 正人	錬6	36	八幡工業高校	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会優勝	東レ株式会社
大	竹中 淑浩	教7	50	近畿大	全日本学生剣道優勝大会優勝、全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	東レ株式会社

### 京都

監督 西川 忠男

先	三谷 武路	2	16		京都府高校剣道選手権大会3位	東山高校2年
次	橋本 駿	3	21		全国高等学校剣道選抜大会優勝、全日本学生剣道選手権大会個人ベスト16、全日本学生剣道優勝大会団体ベスト16	同志社大学4年
5	山中 勇人	錬6	33	大阪体育大	全日本都道府県対抗優勝大会、全国矯正職員大会個人優勝	京都刑務所
中	橋本 将輝	5	27	筑波大学大学院	全日本剣道選手権大会、全国教職員大会個人優勝・団体2位、都道府県対抗優勝大会、全日本学生優勝大会2位・個人ベスト8	日吉ヶ丘高校
3	落合 流星	5	25	京都産業大	全日本都道府県対抗優勝大会、全国警察官大会	京都府警察
副	久保 翔太	教7	38	佛教大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会3位、全国矯正職員大会団体2位・3位	京都刑務所
大	藤原 広臨	教8	54	京都大学大学院(医学)	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本医科大学総合体育大会団体優勝、他	医師(大学教員)

### 大阪

監督 三浦 秀人

先	中尾 純生	2	17		全国中学校剣道大会、近畿中学校剣道大会3位	履正社高校3年
次	里脇 大河	3	21		全国高校選抜大会優勝、関西学生大会団体優勝	近畿大学4年
5	山崎 将治	4	26	中央大	全日本学生優勝大会優勝2回、全日本学生選手権大会3位、全日本都道府県対抗大会優勝	パナソニック
中	吉田 太陽	錬6	36	国士舘大	教職員大会優勝1回・2位1回、全日本都道府県対抗大会優勝	太成学院大学高校
3	清家 羅偉	5	26	中央大	全日本選手権大会、国民体育大会、全国警察官大会	大阪府警察
副	足達 翔太	錬6	35	明治大	全日本実業団大会優勝、全日本都道府県対抗大会2位	パナソニック
大	佐藤 博光	教8	52	大阪体育大	全日本選手権大会、世界大会、都道府県対抗大会、東西対抗大会、国民体育大会、全国警察官大会	大阪府警察

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

## 奈良

監督 伊東康裕

先	木村 瑠汰	3	17		全国高等学校剣道選抜大会3位、全国高等学校剣道大会3位	奈良大学附属高校3年
次	中田 涼太	3	18		全国高等学校剣道選抜大会3位、全国高等学校剣道大会3位	関西学院大学1年
5	山田 侑希	錬6	33	関西大	全日本選手権大会出場、全日本実業団剣道大会優勝2回	パナソニック株式会社
中	森 洸太	5	28	日本体育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員剣道大会	高取国際高校
3	山内 駿	5	31	関西大	全日本選手権大会、国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察選手権大会、全国警察大会	奈良県警察
副	杉本 和也	錬6	35	龍谷大		天川村役場
大	西田 大佐	教7	50	筑波大	全日本選手権大会、国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	奈良県教育委員会

## 和歌山

監督 奥地 慎

先	井田 雄介	3	17			耐久高校3年
次	石川 誠也	3	21		全国高等学校総合体育大会団体ベスト8	東海大学3年
5	小幡 侑矢	5	25	和歌山大	全日本都道府県対抗優勝大会、国民体育大会、全日本学生選手権大会、全日本学生東西対抗試合	JPロジスティクス
中	太田 浩規	6	36	大阪教育大	全日本都道府県対抗優勝大会ベスト8、全日本学生選手権大会、全国教職員大会団体優勝、個人ベスト8	桐蔭高校
3	小倉 進志	5	28	立命館大	全日本都道府県対抗優勝大会、全日本選手権大会、全国警察大会団体2部優勝、国民体育大会	和歌山県警察
副	末永 将大	6	37	近畿大学附属高校	全日本都道府県対抗優勝大会	(一・社)み・ゆーじ
大	木原 克之	教7	51	国士舘大	全日本都道府県対抗優勝大会5回、全日本選手権大会4回、東西対抗大会4回、全国教職員大会団体3位、全日本学生大会優勝	和歌山北高校

## 兵庫

監督 秋山 雅彦

先	越中 朝日	2	17		全国中学校剣道大会、全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	東洋大学附属姫路高校3年
次	谷川 聖樹	4	22		全日本学生剣道優勝大会2位、全国高等学校総合体育大会3位、国民体育大会4位	日本体育大学4年
5	鈴木 賢起	5	27	鹿屋体育大	全日本剣道選手権大会	株式会社グローリー本社
中	栗山 大輝	5	28	兵庫教育大学大学院	全国教職員剣道大会	飾磨東中学校
3	横山 立太	4	28	近畿大	国民スポーツ大会	兵庫県警察
副	東元 靖幸	5	41	天理大	全日本学生剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	川崎重工業株式会社
大	久保 貴経	教7	55	大阪体育大	全日本剣道選手権大会、全国警察剣道大会、全国警察剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	兵庫県警察

## 岡山

監督 馬場 健治

先	島村 碧英羅	2	16		全国高等学校剣道大会	関西高校2年
次	福永 竜大	3	20			東洋大学3年
5	山中 勝貴	5	32	今治精華高校	全国矯正職員剣道大会、全国矯正職員選手権大会	岡山刑務所
中	高橋 怜央	5	28	帝京大	全国高等学校剣道大会、全国都道府県対抗優勝大会、全日本学生選手権、全日本学生剣道優勝大会、全国教職員大会ベスト8、全日本学生オープン大会三段以上の部個人優勝	環太平洋大学
3	鴨井 龍希	5	27	京都産業大	全日本剣道選手大会、国民スポーツ大会、全国警察剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察剣道選手権大会	岡山県警察
副	福森 智之	錬7	39	大阪体育大	国民スポーツ大会、全国都道府県対抗剣道優勝大会、全国矯正剣道大会	岡山刑務所
大	楠本 晴之	教8	53	日本大	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、国民スポーツ大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察剣道大会、全国警察剣道選手権大会	岡山県警察

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

## 広島

監督 杉山 彰

先	河野 匠	3	17			呉港高校3年
次	山中 一颯	3	18		全国高等学校総合体育大会(個人・団体)、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	鹿屋体育大学1年
5	本間 建成	6	31	新南陽高校	全国矯正職員武道大会個人優勝・団体2位、全日本剣道選手権大会、国民体育大会2回	広島事務所
中	戸谷 巧	4	25	福岡教育大	全国高等学校総合体育大会(団体)、全日本学生剣道選手権大会(個人)	広島城北学園
3	山田 翔	錬6	31	大阪体育大	全日本学生剣道優勝大会優勝、国民スポーツ大会、全国警察剣道大会第3部優勝・第2部優勝	広島県警察
副	矢野 孔明	6	38	清和 大	全日本選手権、国民スポーツ大会	広島拘置所
大	高島 祐至	教7	50	大阪体育大	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会、全国警察剣道大会2部優勝2回	中国四国管区警察学校

## 山口

監督 稲田 豊

先	橋本 十座	2	17		全国高校総体団体、全国高校選抜大会、滋賀国民スポーツ大会少年男子の部	西京高校3年
次	部坂 俐人	4	20		全日本学生剣道選手権大会	国学院大学3年
5	田村 亮貴	5	25	環太平洋大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	山口事務所
中	大石 洋史	錬7	39	大阪体育大	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、国民体育大会優勝1回	宇部総合支援学校
3	富永 純平	錬6	34	志学館大	国民スポーツ大会、全国警察剣道大会	山口県警察
副	原 勇輝	教7	45	中京大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	島根あさひ社会復帰促進センター
大	榊 大輔	教7	50	徳山大	国民体育大会優勝1回、全日本剣道選手権大会	山口県警察学校

## 鳥取

監督 山本 勝

先	小淵 剣太郎	3	17		全国高等学校剣道選抜大会	鳥取城北高校3年
次	板見 奏人	4	21		全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国高等学校剣道選抜大会	東海大学4年
5	加藤 竜成	4	25	広島大	全国高等学校剣道大会個人準優勝、全国教育系大学学生大会団体準優勝、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本剣道選手権大会	パナソニックハウジングソリューションズ(株)
中	板見 慧人	4	24	大阪体育大	全国高等学校剣道大会個人、全国教職員剣道大会	倉吉農業高校
3	齋江 貴大	5	30	国士舘大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全国警察剣道大会、他	鳥取県警察
副	川合 佑典	錬6	42	東海大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	鳥取事務所
大	菊川 省吾	教7	50	筑波大	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、国民スポーツ(体育)大会、全国教職員剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	鳥取西高校

## 島根

監督 深石 裕樹

先	渡部 魁斗	3	17		全国高校総体剣道大会、全国高等学校剣道選抜大会	大社高校3年
次	井上 響喜	3	20		全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道選手権大会、全日本学生剣道東西対抗、中国四国学生剣道選手権大会優勝	環太平洋大学3年
5	古谷 祥貴	4	29	近畿大		島根あさひ社会復帰促進センター
中	加藤 大征	4	24	筑波大学大学院	全日本剣道選手権大会、国民スポーツ(体育)大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	島根県教育委員会
3	坂本 秀樹	錬6	36	日本体育大	全日本剣道選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国警察大会、全国警察選手権大会	島根県警察
副	高木 洸	錬6	41	徳山大	国民スポーツ(体育)大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	松江事務所
大	森 脇 誠	教7	51	徳山大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	松江事務所

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

### 香川

監督 井上 孝

先	松村太樹	3	17		全国高校大会、全国高校選抜大会、国民スポーツ大会	星槎国際高校3年
次	矢葺尊	3	19		全国高校大会、全国高校選抜大会	日本大学2年
5	西山晟佑	4	26	済美高校		高松刑務所
中	寒川祥	5	26	筑波大学大学院	全日本選手権大会、全国教職員大会	大手前高松中学・高校
3	森本融	錬6	33	鹿屋体育大	全日本選手権大会、都道府県対抗優勝大会、国民スポーツ大会、全国警察剣道大会、全国警察剣道選手権大会	香川県警察
副	松永啓志	4	41	大阪産業大	都道府県対抗優勝大会	松山刑務所
大	小野雅史	教7	51	国士舘大	都道府県対抗優勝大会、国民体育大会	四国矯正管区

### 愛媛

監督 近田幸信

先	森川幸宣	3	17		愛媛県高等学校新人大会3位、愛媛県高等学校新人大会優勝、四国高等学校剣道新人大会	松山北高校3年
次	佐伯凜太郎	3	20		全国高等学校剣道選抜大会優勝、関東学生新人大会優勝	中央大学3年
5	片山峻輔	4	25	国士舘大	全日本学生剣道優勝大会準優勝、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会	松山刑務所
中	本城拓海	5	25	高知大	全国教職員大会	東予総合高校
3	村上哲彦	錬6	33	松山大	全日本剣道選手権大会優勝・3位、国民体育大会優勝	愛媛県警察
副	國松建作	錬6	38	済美高校	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国矯正職員剣道大会	松山刑務所
大	高宮 肅	教7	53	松山商業高校	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、全国警察剣道大会	愛媛県警察

### 高知

監督 大崎正澄

先	栗山大諒	3	17		全国高校選抜、全国高校総体	高知高校3年
次	宇賀大朔	4	20		全国高校選抜、全国高校総体優秀選手	慶応義塾大学3年
5	原 一馬	3	23	神港学園	全国矯正職員剣道大会	高知刑務所
中	柿本竜汰	4	24	鹿屋体育大	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	日高特別支援学校高知しんぼんまち分校
3	中澤公貴	錬6	35	国士舘大	全日本選手権大会、国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本東西対抗剣道大会、全国警察剣道大会、全国警察剣道選手権大会	高知県警察
副	中田大志	錬7	42	松山聖陵高校	全国高校選抜、国民体育大会、全国矯正職員剣道大会	高知刑務所
大	高木 郁	教7	50	多々良学園高校	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	陸上自衛隊高知地方協力本部

### 徳島

監督 福多雅英

先	渡辺多津磨	2	16			富岡西高校2年
次	前田優真	3	19		全日本都道府県対抗剣道優勝大会	国士舘大学2年
5	大城穂高	4	23	高知工科大	全日本学生剣道選手権大会、全日本学生剣道東西対抗試合、全日本学生剣道優勝大会	日亜化学工業
中	白木恒二郎	6	33	国士舘大	全日本学生剣道優勝大会準優勝、国民体育大会5位、全日本剣道選手権大会ベスト8、都道府県対抗剣道優勝大会	富岡東高校
3	本田将大	5	30	松山大	全国警察大会	徳島県警察
副	玉井 翔	5	36	松山商業高校	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	徳島刑務所
大	山名信行	教8	50	国際武道大	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	徳島県警察

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

### 福岡

監督 原 忠 生

先	新井 魁成	2	17		全国中学校剣道大会団体優勝、玉竜旗高校剣道大会準優勝、全国高等学校剣道選抜大会ベスト8	福岡第一高校 3年
次	妹尾 風輝	4	21		全日本学生剣道選手権大会、全日本学生東西対抗大会、全日本学生剣道優勝大会3位、全日本学生剣道オープン大会優勝	鹿屋体育大学 4年
5	平岡 良脩	5	29	法政大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会3位、全日本実業団剣道大会優勝1回・3位1回・ベスト8 2回	九州電力
中	森田 大陽	4	24	日本体育大	全日本学生剣道優勝大会準優勝2回、全日本学生剣道選手権大会2回	筑紫台高校
3	池田 虎ノ介	5	24	筑波大	全日本剣道選手権大会3位、全日本都道府県対抗剣道優勝大会準優勝、国民スポーツ大会(滋賀)4位	福岡県警察
副	相田 将志	錬6	37	専修大	全日本学生剣道優勝大会3位、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国矯正職員剣道大会団体優勝、国民スポーツ大会(佐賀)	福岡刑務所
大	大淵 量	教8	53	筑波大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会優勝、国民スポーツ大会、全国教職員剣道大会個人優勝、全日本東西対抗剣道大会	久留米商業高校

### 佐賀

監督 原 剛

先	笹川 大成	3	17		全国高等学校総合体育大会ベスト16	敬徳高校 3年
次	古川 雄大	4	19		全国高等学校選抜剣道大会	同志社大学 2年
5	笠原 祥吾	5	31	日本大	全日本学生優勝大会	佐賀刑務所
中	川尻 尋	4	25	国士舘大	全国教職員大会	佐賀学園高校
3	井手 一希	5	26	三養基高校	国民体育大会、全日本都道府県対抗剣道大会	佐賀県警察
副	川崎 輝士	6	37	日本体育大	全日本選手権大会、国民体育大会	団体職員
大	碓 竜治	教8	50	鹿屋体育大	全国教職員大会	武雄高校

### 長崎

監督 梅田 福一郎

先	小池 雄士郎	3	17			長崎東高校 3年
次	水口 快	4	20		都道府県大会、関東選手権剣道大会3位、関東選手権団体3位、関東新人戦団体優勝、全日本学生選手権大会個人	中央大学 3年
5	藤田 元	5	27	国士舘大	都道府県大会	長崎刑務所
中	林田 匡平	錬6	32	筑波大	全日本剣道選手権大会2位1回・3位3回、国民体育大会3位、全国教職員剣道大会個人優勝3回、団体3位	島原高校
3	前田 聖直	5	25	鹿屋体育大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗優勝大会、国民スポーツ大会	長崎県警察
副	中馬 達哉	6	36	中央大	都道府県大会	長崎刑務所
大	島田 貴文	教8	54	中央大	全日本剣道選手権大会、全日本東西対抗剣道大会、都道府県大会	長崎県警察

### 大分

監督 安東 夏行

先	伊藤 光佑	2	17			明豊高校 3年
次	正木 蓮	3	21		全国選抜剣道選手権大会優勝、全日本都道府県対抗剣道優勝大会	明治大学 4年
5	梶原 亘晃	4	27	朝日大	全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道優勝大会、全日本学生剣道優勝大会	江藤酸素株式会社
中	古手川 優作	5	29	東海大	全国教職員剣道大会	佐伯支援学校
3	黒木 誠	5	30	日本体育大	全国学生剣道優勝大会3位、全国警察大会2部3位・全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本剣道選手権大会、国民スポーツ大会	大分県警察
副	徳部 大地	錬6	37	日本経済大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会3位	大分刑務所
大	本川 明	教8	59	鹿屋体育大		日田市役所

順序	出場選手名	称段	年齢	出身校	剣歴	職業または勤務先
----	-------	----	----	-----	----	----------

### 熊本

監督 才田耕司

先	石橋智紀	3	18		全国高等学校剣道大会、玉竜旗高校剣道大会、魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会、全国中学校剣道大会	九州学院高校3年
次	山元隆太	3	19		玉竜旗高校剣道大会、全国高校剣道大会、全国高校剣道大会	中央大学1年
5	谷口隆磨	4	24	鹿屋体育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	熊本刑務所
中	澤田武秀	5	30	立教大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員剣道大会	八代白百合学園高校
3	淵田啓正	5	33	大阪体育大	全国警察剣道選手権大会、全国警察剣道大会	熊本県警察
副	岩根佑馬	錬6	35	中央大	全日本学生剣道大会、全日本実業団剣道大会	パナソニックエレクトリックワークス(株)
大	中嶋貴憲	教7	51	大東文化大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会	熊本刑務所

### 宮崎

監督 甲斐修二

先	宮崎翔偉	3	17		インターハイ団体3位、全国選抜大会	日章学園高校3年
次	船迫仁也	3	21		全日本学生選手権3位、全日本学生優勝大会2位	鹿屋体育大学4年
5	持原大希	3	31	鹿屋体育大		(株)2ND CREA
中	姫井晃平	5	33	鹿屋体育大	全国都道府県対抗剣道優勝大会、全国教職員大会	宮崎北高校
3	染矢椋太郎	5	29	中央大	全日本選手権、国民体育大会	宮崎県警察
副	松井久智	4	46	大東文化大		西濃運輸
大	谷口信一朗	教7	52	国際武道大	全国都道府県対抗剣道優勝大会、国民スポーツ大会	宮崎刑務所

### 鹿児島

監督 東中尾 修

先	松山翔馬	3	17			鹿児島玉龍高校2年
次	横峯心	3	21		全国高等学校選抜大会(優秀選手賞)、鹿児島国体少年男子の部2位	近畿大学3年
5	山本将弘	6	32	日本体育大	都道府県大会3位1回、国体	鹿児島刑務所
中	朴木涼馬	4	27	名古屋経済大	全国教職員剣道大会、全日本学生剣道優勝大会	樟南高校
3	西留力也	錬6	33	志学館大	全国警察官大会2部準優勝・3部優勝	鹿児島県警察
副	森園陽任	教7	40	鹿児島商業高校	都道府県大会3位1回、国体3位1回	自営業
大	坂上隆	教8	57	国際武道大	高校総体団体	(株)さかうえ

### 沖縄

監督 富山嘉津男

先	竹下隼汰	3	17		全国高校選抜大会	興南高校3年
次	手登根煌青	3	20		全日本学生剣道選手権大会、全日本学生剣道優勝大会、全国高校大会、全国高校選抜大会	中京大学3年
5	桃原竜矢	6	31	大阪体育大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本学生選手権大会	沖縄刑務所
中	久田友雅	6	32	国士館大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会、全国教職員大会	興南中学校
3	中島太朗	5	28	国士館大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会、全国警察大会	沖縄県警察
副	榮翔平	5	36	京都産業大	全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本学生選手権大会	沖縄刑務所
大	稲田宏之	教7	51	東洋大	全日本都道府県対抗剣道優勝大会、国民体育大会、全国警察大会、全国警察選手権	沖縄県警察

## 本大会の歴史

本大会は、全日本剣道連盟が昭和27年10月に設立されてから実施している全日本剣道選手権大会・全日本東西対抗剣道大会とならぶ、伝統ある最も重要な大会のひとつであります。

第3回大会（昭和30年）まで京都市における剣道祭的な個人試合と併行して実施されていましたが、第4回大会（昭和31年）より独立し、大阪府剣道連盟主管のもとに、大阪府において開催されることになりました。

以後、年齢・職業・段位により制限を設け、学生を除く社会人の各層から選手が出場できる方を講じることで、より充実した試合を展開してまいりました。

第46回大会（平成10年）より、女性剣道の目覚ましい発展に伴い、この大会も女性剣士抜きでは考えられなくなり、女子2名を加え、1チーム7名編成で開催され、出場者は、男女ともに世界大会出場者や全日本選手権者をはじめとし、各種剣道大会で活躍中の選手男女混成による実質的な各都道府県の総力戦大会として実施してきましたが、平成21年度より従来7月に開催していた「全国家庭婦人剣道大会」を「全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」として開催し、本大会を男子団体戦として高校生・大学生を含む新たな選手編成で実施することとしました。

これまでの過去の優勝回数は、大阪府16回、東京都14回、福岡県5回、それに熊本県の5回が続きます。

また、第47回大会より優勝チームに対し、春日大社に奉納されている南北朝時代の甲冑（国宝）の兜を複製した優勝兜（持ち回り）が贈呈されることになりました。

## 過去の記録

回数	期日・場所	成績（優勝チーム、先鋒・次鋒・中堅・副将・大将）
第1回	昭和28年5月4・5日 於・旧大日本武徳会武徳殿	優勝 東京都（中村、山下、森島、角川、佐藤） 第2位 鹿児島県（山口、竹下、坂口、松崎、緒方） 第3位 兵庫県・広島県
第2回	昭和29年5月3・4日 於・旧大日本武徳会武徳殿	優勝 鹿児島県（大久保、重岡、坂口、梅山、中倉） 第2位 福島県（平出、松本、相楽、矢内、青田） 第3位 福岡県・静岡県
第3回	昭和30年5月3～5日 於・旧大日本武徳会武徳殿	優勝 熊本県（緒方、石原、一川、井上、緒方） 第2位 福島県（水木、蒲生、安田、千葉、矢内） 第3位 鹿児島県・大阪府
第4回	昭和31年7月22日 於・大阪府立体育会館	優勝 熊本県（緒方、石原、一川、井上、緒方） 第2位 大阪府（井上、小森園、萩原、山口、六反田） 第3位 栃木県・鹿児島県
第5回	昭和32年6月9日 於・大阪府立体育会館	優勝 岡山県（山根、高田、木本、山形、石原） 第2位 佐賀県（南里、定松、北川、馬場、田島） 第3位 京都府・大阪府
第6回	昭和33年5月3日 於・大阪府立体育会館	優勝 新潟県（渡辺、佐藤、堀田、矢野、占部） 第2位 東京都（榎本、橋本、松元、今井、鶴海） 第3位 兵庫県・大阪府

第7回	昭和34年5月3日 於・大阪府立体育会館	優勝 熊本県(宮崎、石原、坂田、緒方、井上) 第2位 佐賀県(北川、定松、川崎、石橋、田島) 第3位 大阪府・愛知県
第8回	昭和35年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 兵庫県(村山、木山、堀田、蓮井、中尾) 第2位 山口県(野間、吉田、田村、津脇、高嶋) 第3位 大阪府・佐賀県
第9回	昭和36年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(川上、小森園、賀来、中沢、浦本) 第2位 福岡県(古庄、大坪、久保、大浦、谷口) 第3位 佐賀県・山口県
第10回	昭和37年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 福岡県(神、谷口、木下、松原、大浦) 第2位 大阪府(川上、小森園、河田、中沢、浦本) 第3位 埼玉県・新潟県
第11回	昭和38年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 福岡県(神、谷口、木下、松原、大浦) 第2位 大阪府(川上、上辻、小林、千原、浦本) 第3位 富山県・岡山県
第12回	昭和39年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(齊藤、太田、今田、服部、園田) 第2位 山口県(島津、高橋、神徳、津脇、高嶋) 第3位 岡山県・新潟県
第13回	昭和40年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 愛知県(細田、恵土、内藤、鈴木、谷) 第2位 佐賀県(松本、藤本、穂山、北川、定松) 第3位 大阪府・福岡県
第14回	昭和41年5月3日 於・神戸市中央体育館	優勝 兵庫県(白井、河野、安倍、魚谷、堀田) 第2位 大阪府(川上、山本、島野、中沢、関田) 第3位 岡山県・福岡県
第15回	昭和42年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 埼玉県(若松、山中、野沢、市川、蓮井) 第2位 神奈川県(枝、福本、幸野、白石、清水) 第3位 兵庫県・東京都
第16回	昭和43年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 鹿児島県(池田、鶴狩、有満、児嶋、吉村) 第2位 岡山県(久山、藤田、石岡、高田、山根) 第3位 熊本県・神奈川県
第17回	昭和44年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(白藤、山本、浜田、太田、関田) 第2位 神奈川県(久保木優、久保木文、幸野、枝、清水) 第3位 熊本県・滋賀県
第18回	昭和45年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(大川、国分、小川、白藤、小林) 第2位 東京都(渡辺、矢野、千葉、興柁、小沼) 第3位 千葉県・長崎県
第19回	昭和46年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(岩田、桜木、中村、川瀬、伊保) 第2位 大阪府(川上、国分、島野、太田、小林) 第3位 佐賀県・神奈川県
第20回	昭和47年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 福岡県(浦、白木、樋口、高野、古庄) 第2位 高知県(片岡、川添哲、安岡、橋本、川添恵) 第3位 広島県・愛知県
第21回	昭和48年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(豊村、溝口、小坂、播磨、小林) 第2位 鹿児島県(有村、会田、竹迫、久木山、有満) 第3位 岡山県・香川県
第22回	昭和49年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大分県(二宮、古沢、江口、祐成、葛城) 第2位 滋賀県(重松、白井、脇本、首藤、八木) 第3位 東京都・北海道
第23回	昭和50年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(高橋、馬場、平、田村、佐藤) 第2位 兵庫県(馬渡、日高、浜田、辻、鈴木) 第3位 大阪府・福岡県

第24回	昭和51年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大分県(二宮、一丸、大戸、祐成、佐藤) 第2位 東京都(熊切、矢野、大野、三浦、西山) 第3位 北海道・佐賀県
第25回	昭和52年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(伊藤、白藤、坂本、一川、川上) 第2位 兵庫県(花田、一丸、二子石、杉山、宮崎) 第3位 神奈川県・佐賀県
第26回	昭和53年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(岩本、権瓶、島野、川上、小林) 第2位 神奈川県(松原、金木、佐藤、戸田、福本) 第3位 宮崎県・福岡県
第27回	昭和54年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 愛知県(祝、合原、大嶽、梅山、北村) 第2位 大阪府(大塚、権瓶、小坂、川上、小林) 第3位 大分県・千葉県
第28回	昭和55年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 鹿児島県(西久保、俣木、末野、山口、有満) 第2位 千葉県(熊切、青木、滝口、中西、斉藤) 第3位 大分県・大阪府
第29回	昭和56年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 鹿児島県(西久保、俣木、末野、小田口、有満) 第2位 宮崎県(興梠、外山、大重、石田、桑原) 第3位 大阪府・大分県
第30回	昭和57年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 埼玉県(田中、中野、加治屋、若杉、野沢) 第2位 大阪府(林、緒方、坂本、蒔田、島野) 第3位 鹿児島県・宮崎県
第31回	昭和58年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 宮崎県(興梠、外山、日高、中西、甲斐) 第2位 大阪府(江川、作道、岩堀、太田、小川) 第3位 東京都・神奈川県
第32回	昭和59年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 宮崎県(興梠、外山、大重、中西、甲斐) 第2位 栃木県(岡本、稲葉、横山、白石、白寄) 第3位 広島県・秋田県
第33回	昭和60年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 宮崎県(興梠、外山、日高、山本、甲斐) 第2位 埼玉県(豆田、中野、加治屋、吉岩、佐々木) 第3位 千葉県・大阪府
第34回	昭和61年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 栃木県(毛塚、佐野、小池、白石、佐藤) 第2位 千葉県(深井、斉藤、石井、中西、忍足) 第3位 大阪府・東京都
第35回	昭和62年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(岡本、神崎、石田、林、島野) 第2位 北海道(林、佐賀、田中、三好、武田) 第3位 茨城県・秋田県
第36回	昭和63年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(大村、氏家、西川、市川、梯) 第2位 神奈川県(太田、飛知和、宮崎、東出、五味渕) 第3位 滋賀県・熊本県
第37回	平成元年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 熊本県(今村、黒川、桑原、松岡、山田) 第2位 埼玉県(保坂、久保、山田、田中、山中) 第3位 鹿児島県・兵庫県
第38回	平成2年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 埼玉県(村石、中野、加治屋、江田、山中) 第2位 大阪府(橋本、吉田、船津、崎山、石田) 第3位 北海道・神奈川県
第39回	平成3年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 東京都(梶原、岡村、田島、大村、濱崎) 第2位 岡山県(松本、筒井、藤原、榊原、田中) 第3位 奈良県・福岡県
第40回	平成4年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 東京都(谷、右田、田島、水田、遠藤) 第2位 香川県(松下、宮本、旭、白石、伊丹) 第3位 石川県・千葉県

第41回	平成5年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 福岡県(林、金森、清田、井手、石橋) 第2位 東京都(谷、碓氷、田島、竹村、豊村) 第3位 栃木県・茨城県
第42回	平成6年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 北海道(稲川、栄花英、栄花直、林、岡嶋) 第2位 東京都(梶原、吉田、寺地、水田、氏家) 第3位 大分県・岡山県
第43回	平成7年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 北海道(稲川、栄花英、栄花直、林、古川) 第2位 愛知県(藤嶋、棚井、倉成、中山、東) 第3位 大阪府・愛媛県
第44回	平成8年5月3日 於・京都市立体育館	優勝 大阪府(福田、神崎、山本、平野、船津) 第2位 北海道(稲川、栄花英、栄花直、林、古川) 第3位 愛媛県・京都府
第45回	平成9年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 北海道(福井、佐賀、栄花、林、古川) 第2位 愛知県(関屋、野末、安藤、中山、東) 第3位 愛媛県・東京都
第46回	平成10年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 福岡県(松本、木附、藤田、大淵、彌永、小川、鳥巢) 第2位 大阪府(馬場、寒川、石田、川上、江藤、大森、船津) 第3位 奈良県・神奈川県
第47回	平成11年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(馬場、村澤、石田、川上、江藤、飯沼、山本) 第2位 愛知県(鈴木、関屋、青山、上山、近本、中山、山崎) 第3位 神奈川県・福岡県
第48回	平成12年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(甲斐、滝崎、石田、川上、寺本、平野、山本) 第2位 東京都(山本、福住、桂、田島、関、小笠、佐藤) 第3位 兵庫県・鹿児島県
第49回	平成13年5月3日 於・大阪市、舞洲アリーナ	優勝 大阪府(馬場、田中、石田、今泉、佐藤、平野、神崎) 第2位 三重県(駒田、慶金、井上、山下、國武、川嶋、山村) 第3位 東京都・福岡県
第50回	平成14年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(朝比奈、香川、松浦、笹木、深谷、宮本、恩田) 第2位 埼玉県(村山、内田、金子、金子、東永、榑崎、加治屋) 第3位 兵庫県・北海道
第51回	平成15年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(甲斐、石塚、石田、今泉、佐藤、平野、戸高) 第2位 宮城県(佐藤、菅原、大山、千葉、遠藤、柳、佐々木) 第3位 東京都・静岡県
第52回	平成16年5月3日 於・大阪市中央体育館	優勝 岡山県(坪田、寺尾、稲垣、横田、鈴木、竹内、山根) 第2位 千葉県(古室、中川、黒川、石井、蒔田、綾部、林) 第3位 大阪府・兵庫県
第53回	平成17年5月1日 於・大阪市中央体育館	優勝 岡山県(坪田、穂崎、稲垣、三宅、鈴木、竹内、山根) 第2位 静岡県(内田、片岡、美和、内田、濱田、松井、小山) 第3位 兵庫県・大阪府
第54回	平成18年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(庄島、神崎、鈴木、栗原、内村、山本、寺地) 第2位 大阪府(大辻、滝崎、石田、川上、寺本、松原、石田) 第3位 岡山県・埼玉県
第55回	平成19年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(馬場、榑林、三宅、川上、寺本、吉村、江藤) 第2位 千葉県(井沢、佐藤、小室、谷口、岩下、木村、白石) 第3位 茨城県・岡山県
第56回	平成20年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(小池、高村、久木山、天野、内村、立見、大島) 第2位 京都府(杉本、葛田、田中、小川、高島、木佐、高橋) 第3位 神奈川県・千葉県
第57回	平成21年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 大阪府(東、後藤、滝崎、久保、寺本、窪田、山本) 第2位 京都府(堀場、北、梅木、小川、中野、廣田、藤元) 第3位 東京都・兵庫県

第58回	平成22年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(齊藤、若松、梅山、天野、内村、立見、林) 第2位 福岡県(樫原、松崎、濱地、在津、森、田中、清田) 第3位 茨城県・北海道
第59回	平成23年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 大分県(日隈、三雲、中村、姫野、横山、村上、笠谷) 第2位 福岡県(竹ノ内、松崎、林田、久保山、森、立花、清田) 第3位 大阪府・山口県
第60回	平成24年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(小林、本川、青木、江刺家、松脇、山本、寺地) 第2位 茨城県(宮本、川井、村上、鈴木、遅野井、大津、阿部) 第3位 大分県・福岡県
第61回	平成25年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 東京都(佐々木、宮本、庄司、天野、正代、山本、恩田) 第2位 福岡県(勇、竹ノ内、甲斐、江田、村方、下川、橋本) 第3位 大分県・千葉県
第62回	平成26年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 熊本県(山田、山下、河上、メ、西村、諏訪元、清水) 第2位 福岡県(矢野、竹ノ内、西村、江田、森、下川、彌永) 第3位 東京都・静岡県
第63回	平成27年4月29日 於・大阪市中央体育館	優勝 和歌山県(橋本、加納、吉田、藤岡、笠原、山本、宮戸) 第2位 佐賀県(岡、久田松、西村、筒井、笹川、田中、稲富) 第3位 京都府・大阪府
第64回	平成28年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 埼玉県(曾田、泉、水森、木野内、足立、橋本、金田) 第2位 愛媛県(橋本、村上、大亀、高橋、村上、大田、新谷) 第3位 大阪府・三重県
第65回	平成29年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 東京都(曾我部、本間、鈴木、村瀬、畠中、高村、笹川) 第2位 大阪府(廣崎、奥山、足達、山本、大城戸、田中、江藤) 第3位 兵庫県・愛知県
第66回	平成30年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 北海道(青木、山田、對島、上村、安藤、野口、栄花) 第2位 茨城県(岩部、中根、山下、鈴木、海老原、矢口、山下) 第3位 広島県・熊本県
第67回	平成31年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 三重県(寫田、中村、井上、伊藤、山下、中田、井上) 第2位 茨城県(木村、松崎、筒井、安田、小池、矢口、鍋山) 第3位 岡山県・大阪府
第68回	令和2年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
第69回	令和3年12月26日 於・和歌山ビッグホエール	優勝 和歌山県(佐々木、松下、小幡、小川、小倉、吉田、山本) 第2位 熊本県(山野、前原、坂熊、澤田、西村、佐藤、山本) 第3位 長崎県・福岡県
第70回	令和4年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 茨城県(熊木、武蔵、松崎、佐々木、阿部、矢口、中村) 第2位 愛知県(中村、大串、山田、芳賀、吉武、鈴木、近本) 第3位 大阪府・福岡県
第71回	令和5年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 大阪府(石塚、林、山崎、吉田、草野、野中、平田) 第2位 福岡県(関、池田、西村、小森、牧島、林田、大淵) 第3位 千葉県・東京都
第72回	令和6年4月29日 於・エディオンアリーナ (大阪府立体育会館)	優勝 東京都(久保木、池田、岩川、安藤、宮本、本川、島村) 第2位 埼玉県(小林、岸、泉、貝塚、八木、竹越、菊地) 第3位 大阪府・広島県
第73回	令和7年4月29日 於・和歌山ビッグホエール	優勝 千葉県(松本、山野、本間、白鳥、岡光、鈴木、鈴木) 第2位 茨城県(佐藤、飯島、竹田、松崎、齊藤、矢口、直井) 第3位 東京都・鹿児島県
第74回	令和8年4月29日 於・和歌山ビッグホエール	優勝 第2位 第3位

# 月刊 剣窓

## —— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

### 主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

**〈年間購読料(12回分) 税・送料込 4,400円〉**  
(令和7年12月1日より)

### お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

### お問い合わせ

## 全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

# 全剣連発行の頒布物一覧

令和8年4月現在

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)	頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3	剣道講習会資料	¥500	310	8
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2	剣道用具の保守・管理（英語版）	¥400	69	3
FIK 剣道試合・審判規則（和英版）	¥1,000	140	5	絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
居合道試合・審判規則	¥500	55	3	剣道人バッジ（ネジ・タック）	各¥1,800	13	16
杖道試合・審判規則	¥500	58	3	FIK バッジ（ネジ）	¥1,100	19	18
称号・段級位審査規則	¥400	81	3	男子審判用ネクタイ	¥2,500	58	16
日本剣道形解説書	¥200	93	2	女子審判用ネクタイ	¥2,000	52	9
日本剣道形解説書（英語版）	¥900	240	5	竹刀検査用基準器 ゲージ1 （先革先端部最小直径計測用）	¥4,500	55	3
居合解説	¥250	74	3	竹刀検査用基準器 ゲージ2 （ちくとう対角計測用）	¥4,500	55	3
居合解説（英語版）	¥500	79	3	竹刀検査用基準器 検査台	¥12,000	510	25
杖道解説	¥500	186	7	竹刀検査用基準器セット	¥20,000	620	28
杖道解説（英語版）	¥900	183	7	ぶしし手ぬぐい（白・紺・黄）	各 ¥800	38	4
剣道指導要領	¥2,900	554	7	ぶししクリアファイル（5枚セット）	¥500	127	2
剣道指導要領（英語版）	¥3,400	858	11	ぶししステッカーシート	¥200	8	1
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2	ぶししラバーキーホルダー	¥800	19	5
剣道和英辞典（第3版）	¥2,100	283	14	ぶししTシャツ「SUBURI」ネイビー （S・M・L・XL）	各¥2,500	226	20
剣道社会体育教本（改訂版）	¥2,100	664	13	ぶししTシャツ「SEIZA」ブラック （S・M・L・XL）	各¥2,500	226	20
剣道医学Q & A（第3版）	¥2,100	785	15	ぶししぬいぐるみ	¥5,000	256	210
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2	設立七十周年記念出版 「全剣連と剣道界 この十年の歩み」	¥2,500	980	28
木刀による剣道基本技稽古法（英語版）	¥700	173	2				

\*品物はすべて消費税込みとなります。  
\*全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

## 購入申し込み方法

- インターネットからのお申し込み…<https://zenkenren-shop.com>
- FAX でのお申し込み…心力舎企画株式会社 **03-3451-6905** へ FAX して下さい。  
①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧ FAX 番号 をご記入下さい。  
お支払い金額（品物代金+送料）を記入したご注文確認の FAX を返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法（②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。）

- ①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料（送料は、ご注文の際にお知らせいたします。）

- ①宅 配 便…送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。  
②メール便…（この場合、代金引換はご利用いただけません。）  
**全国一律、680 円で、A4 サイズ（厚さ20mmまで）の品物の配送に利用いただけます。**

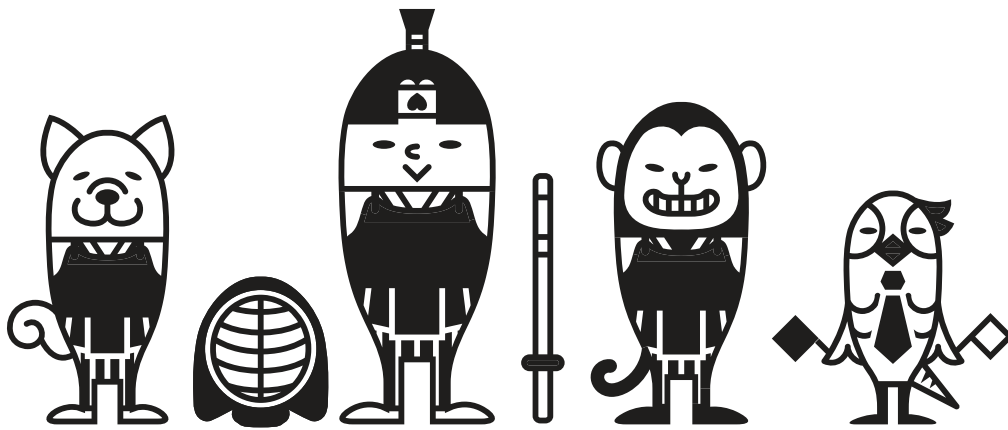
# 公益財団法人 全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)  
令和8年4月1日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	〒102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	TEL 03(3211)5804	FAX (3211)5807
会長 真砂 威	九段事務所	〒102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階	TEL 03(3234)6271	FAX (3234)6007

地方代表団体	会長	〒	事務局所在地	電話	FAX
(一)北海道 剣道連盟	武田 牧雄	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662-1663	(820)1662-1663
青森県	三上 順一	038-0059	青森市大字油川字中道19-6	017(787)2485	(787)2485
秋田県	小松 誠	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10	018(838)1783	(845)3255
山形県	安部美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県	小笠原宏志	020-0133	盛岡市青山4-13-30 (公財)岩手県体育協会会館内	019(645)2220	(645)2220
(一)宮城県	井上 雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県	武藤士津夫	960-0102	福島市鎌田字町23 サラダハウスA101号	024(597)8218	(597)8218
(一)茨城県	水田 重則	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県	白石 正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館2階	028(624)4567	(627)4001
群馬県	小林 一隆	371-0047	前橋市関根町3-4-8 ハイソウホウレン107号	027(235)0870	(235)0870
(一)埼玉県	栗原 憲一	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎4階	048(834)8869	(834)8879
(一)東京都	千葉 胤道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一)千葉県	岩井 啓能	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20	043(285)4331	(285)4333
(一)神奈川県	野見山 延	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1 相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175	(321)6176
山梨県	山本 洋一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162	(278)6163
(一)新潟県	荻 莊 誠	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル2階	025(384)4784	(384)4794
(一)石川県	南 信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3 KSハイソ205号	076(253)0310	(253)0341
(一)富山県	牧本 雄一	939-8076	富山市太郎丸2-77 伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一)福井県	片山 外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一)長野県	二木むつみ	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939	(235)8266
(一)静岡県	二橋 高弘	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428	(263)8367
(一)愛知県	大嶽 將文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県	堤 俊彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12 岐阜県水産会館611	058(274)1521	(274)8949
三重県	中森 博文	514-0007	津市大谷町152 大谷ハイム1-202号	059(226)5975	(229)7407
(一)滋賀県	中野 正堂	524-0022	守山市守山4-7-20 辻田ビル2階	077(514)3165	(514)3178
(一)京都府	伊吹 文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19-10	075(761)8288	(761)8287
(一)大阪府	長 榮 周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館502号	06(6351)3345	(6351)3346
(一)奈良県	吉田 克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14 不動ビル505号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県	世耕 弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(一)兵庫県	神谷 明文	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイソ201号	078(861)5145	(802)5240
(一)岡山県	宮川 健	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一)広島県	田中 秀和	730-0014	広島市中区上幟町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一)山口県	堤 慶一	753-0083	山口市後河原237-1 警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
(一)鳥取県	佐伯 友茂	680-0036	鳥取市川端3-216 瀧本ビル3階	0857(29)2668	(29)2668
島根県	高木 弘伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1 鬼村純方	0852(27)6222	(27)6222
香川県	三原 悦男	760-0033	高松市丸の内4-6 アラキビル2階南	087(880)4463	(880)4467
(一)愛媛県	俊野 徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28 福泉ビル205号	089(941)9394	(941)3013
高知県	渡邊 三則	781-5102	高知県大津甲2009-34	090-1009-6857	
徳島県	西谷 肇一	770-0861	徳島市住吉3-9-6 栗本マンション106号	088(652)2337	(652)2360
(一)福岡県	青柳 俊彦	812-0045	福岡市博多区東公園8番3号 福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
(一)佐賀県	川上 春生	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一)長崎県	灰谷 達明	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095(826)5220	(826)5220
(一)大分県	三浦 悟	870-0820	大分市西大道1-1-76 第2ハルキコーポ101号	097(547)9980	(547)9981
(一)熊本県	尾方 正照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県	橋口 光博	880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890	(62)3893
(一)鹿児島県	野村 良三	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20 県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一)沖縄県	親川 光俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410	(996)4616

祝・第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会



剣道桃太郎の挑戦！日本一を目指します！

さくら堂オリジナルキャラクター

本日出店中

さくら堂



さくら堂ショップ



77-ショップ

〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目9-12 Tel&Fax 086-238-2263

【営業時間】 火-土 10:00-19:00 日・祝 10:00-18:00 【定休日】 月曜日（祝日は営業）・月曜祝日の翌火曜日

祝・第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

直 CHOKU

探していた甲手がここにあった！

素手感覚を実現！すぐに使えます！

甲手頭は、日本の職人が、日本で作っております。



① 6mmミシン刺し

手の内：うすくて丈夫な合成皮革  
サイズ：SS

② 6mmミシン刺し

手の内：うすくて丈夫な合成皮革  
サイズ：S・M・L・LL

③ 6mmミシン刺し

手の内：茶鹿革  
サイズ：S・M・L・LL

④ 2分手刺し

手の内：茶鹿革  
サイズ：オーダーメイド



阪神武道具

〒660-0077 兵庫県尼崎市大庄西町 1-18-21  
TEL 06-6412-0050 FAX 06-6412-0058  
Mail: hanshin-budogu@dune.ocn.ne.jp

祝、第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

祝

第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

売店にて  
元気に出店中!!

SNSや  
オンラインショップは  
↓こちらから↓



@JOSAIBUDOGU



制覇 (株) 城西 JOSAI 武道具

TEL 043-285-3876 FAX 043-285-3771

千葉県千葉市稲毛区作草部1-4-8【定休日】毎週火曜日

祝、第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

剣道を  
オリンピック競技に!

ライトステッチ刺 軽量実戦型防具

“蒼天”



明倫産業株式会社

〒543-0074 大阪市天王寺区六万町1-32

☎大阪(06)6772-3026(代)

F A X (06)6772-3028

E-mail: info@nipponito.co.jp

ホームページ <http://budo.nipponito.co.jp/>  
Yahoo!にも出店しています!!

明倫産業 武道具 で検索

祝、第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会  
 昭和天皇皇后両陛下に御献させて頂いた  
 和歌山を代表する銘菓

紀州銘菓

かげろう

「全国五つ星の手みやげ」  
 に掲載

誕生から半世紀以上

1日 4万個

売れている大人気商品



※写真はイメージです。

創業昭和八年 福菱 全国地方発送可! 和歌山 かげろう  TEL: 0739-42-3128

祝、第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

中和印刷のECサイトで、

チームの  
**オリジナルグッズ**を作ろう!!

1つから  
 注文OK!

- ・アクリルスタンド ・クリアカード
- ・クリアコースター ・卓上カレンダー
- ・ホログラムステッカー etc...



詳しくはコチラ



**CHUWA** 中和印刷紙器株式会社 〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53  
 TEL. (073)431-4411 FAX. (073)431-8188

# 剣道 世界大会 応援クラブ

国内外への剣道普及を目指して

## 会 員 募 集



剣道普及キャラクター  
「ぶしし」

剣道界最大のイベントである国際剣道連盟主催の「世界剣道選手権大会（WKC）。令和9年（2027）に日本で開催される「第20回世界剣道選手権大会（20WKC）」を契機に、全日本剣道連盟（全剣連）のWKCに関する活動を支援し、国内外への剣道振興に繋げる「剣道世界大会応援クラブ」を創設します。剣道愛好者のみなさまから賜りましたご支援を原資として、全剣連のWKC活動及び積極的な国内外での普及活動に活用させていただく制度です。みなさまのご賛同よろしくお願いたします。

- 年会費 団体会員……………1口30,000円/年（上限1団体10口まで）  
個人会員（18歳以上）……1口 5,000円/年（口数に上限なし）
- 入会方法 全剣連ホームページ <https://zenkenren-shop.com/ouenclub> よりお申し込みください。  
クレジットカード決済もしくは口座自動引落いずれかでの手続きとなります。
- 会員資格 団体、個人とも入金日より1年間とします。（※次年度より自動継続）  
有効期限 全剣連HPに会員名簿を掲載。（※希望者のみ）
- 特典 次の特典を用意しております。※メールアドレスの登録が必須となります。（資格を得た時点から遡っての特典を受けることはできません。）①記念品（キーホルダー・ステッカー等）、②全剣連機関誌『剣窓』送付（団体会員：電子版+冊子版3部、個人会員：電子版）、③全剣連剣道カレンダー送付、④全剣連主催の一部の講習会参加費および頒布品割引、⑤大会入場料関連（全日本剣道選手権大会の前売り先行申込の権利及び自由席招待券、第20回世界剣道選手権大会の入場券先行申込）、⑥全剣連所蔵の映像視聴サービス、⑦[団体会員限定] 所属の道場・剣友会等の紹介動画を全剣連HPに掲載（※応募フォームの要項に従って撮影の上、ご応募ください）等を予定。

**現在『剣窓』の購読者も「剣道世界大会応援クラブ」に申し込めます!!**

現在『剣窓』を購読されている方が申し込まれる場合は「愛読者特典」として、申込時点での残りの購読期限分を「会員資格有効期限」の1年間にプラスして延長させていただきます。次回の購読料は、会員申込手続きで選択された「クレジットカード」もしくは「口座自動引落」のいずれかで、プラスされた延長期限終了後に申込口数分の年会費のご入金をお願いいたします。『剣窓』は引き続き冊子版1部と電子版をお楽しみいただけます。

### ●問合せ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階  
公益財団法人全日本剣道連盟 総務部マーケティング室  
TEL: 03-3234-6271 FAX: 03-3234-6007

▶こちらのQRコード  
からも申し込みます。





公益財団法人  
全日本剣道連盟  
All Japan Kendo Federation



# 剣道 やろうよ! *Ready, Set, Kendo!*



れいぎ  
礼儀をまなび、  
わざ  
技をみがき、  
強い心をはぐくむ。

剣道は、剣の心を学び、  
人としての成長を目指す「人間形成の道」です。

子どもも大人も、  
始めるなら今がそのとき。

## #剣道未来プロジェクトで

あなたの日々の中にある「剣道の魅力」を届けてください!

ぜひ  
ご参加を!



全日本剣道連盟  
「必し」プロジェクト

Instagramで [#剣道やろうよ](#) [#剣道未来プロジェクト](#) をつけて投稿してください!  
寄せられた投稿の一部は、全日本剣道連盟公式SNSでご紹介します。

詳しくはこちら  
剣道未来プロジェクト  
特設サイト



第1回 アジア・オセアニア剣道選手権大会  
● 期日: 2026年5/30(土)~5/31(日) ● 会場: 東京武道館



第20回 世界剣道選手権大会  
● 期日: 2027年5/27(木)~5/30(日) ● 開催地: 東京

# 剣道って？

剣道は、「竹刀」をつかう武道だけど、それだけじゃないよ！

①

こころとカラダを  
そだてるもの

剣道の稽古では、  
「つよい気持ち」と「正しい姿勢」を  
身につけられるよ。



②

礼を  
たいせつにする

相手をたいせつにし、  
しっかりあいさつすることで、  
「思いやりのこころ」も育つんだ。



全日本剣道連盟 剣道普及キャラクター  
「ぶしし」

③

生涯ずっと  
つづけられる

子どもから大人まで、  
一生たのしめる。  
こころもずっと元気！



## 剣道を始めてみよう！

どこでも  
見学・体験  
できるよ！

近くの【道場・剣友会・クラブ】に  
行って、まずは見学から。

はじめてでも  
大丈夫！

竹刀の持ち方、基本姿勢から  
しっかり教えてもらえるよ。

家族で  
参加もOK！

子どもと大人、一緒に  
剣道に挑戦しよう！

さあ、あなたも一歩を踏み出そう！  
道場・剣友会・クラブはいつでも大歓迎！

無料体験もあるので、まずは見学からOK！

地域道場・剣友会・クラブ

見学・体験  
受付中！

## 「剣道未来プロジェクト」とは

剣道を「知る」「見る」「体験する」ことを通じて、  
子どもや若者たちにその魅力を感じてもらい、未来につながる剣道文化の継承を目指しています。  
今後、さまざまな広報活動やイベントを通じて積極的に取り組んでいきますので、ご期待ください。

# MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

あなたの竹刀は基準を満たしていますか？

長さ？

重さ？

太さ？



動画で  
チェック!!



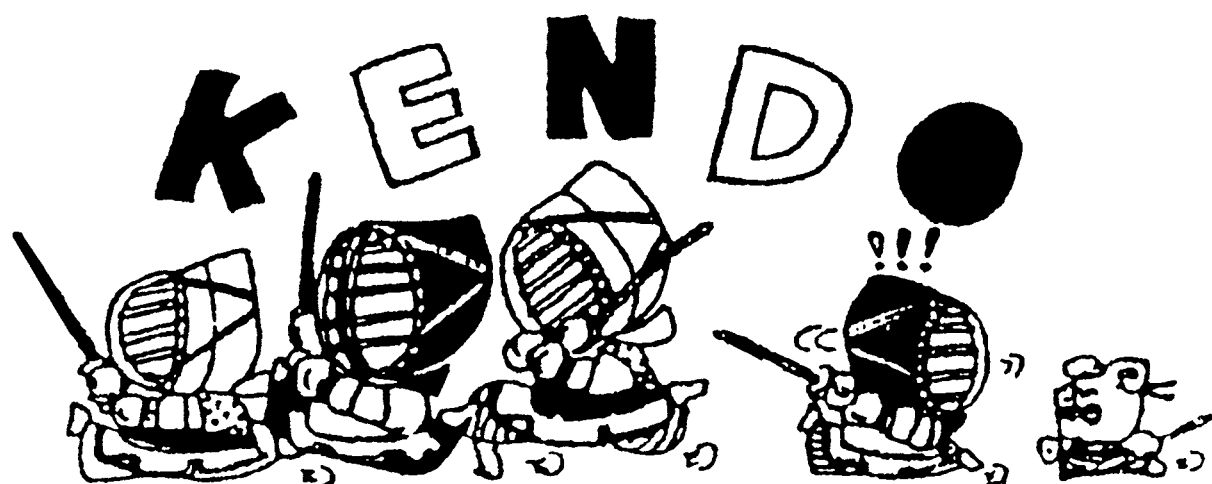
私たちは《剣道》を応援しています

メルコグループ



# 祝

## 第74回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会



創業 93年

# 津村 武道具店

〒640-8269 和歌山市小松原通2丁目1番地

TEL (073) 422-9956

FAX (073) 423-2932

〈定休日 第1・3・5月曜日、火曜日〉